

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

科目	<b>論理国語</b>	履修学年・3学年	教科担当 小寺克 橋本眞紀子
		2単位（必履修）	
目標	多彩な内容に亘る論理的文章や実用的文章の読解、要約、及び意見発表や交換等を通して、知的な視野を広げると共に、課題の発見、理解、考察、表現、討議、等の過程について自立的な思考、処理能力を養い、社会的諸活動に主体的に参加するための資質、能力を育成する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、課題文を細部までの確に読解できると共に、要約、表現能力を使いこなし、他者に対して明瞭に伝わる内容にまとめることが出来た。	支援なしで、課題文の概要を理解し、論旨や主張について、効果的にまとめることが出来た。	支援を得ながら、課題文の概要を理解し、論旨や主張についても理解し気付けた。	課題文の概要理解が曖昧で、論旨や主張についても十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について高度な意見をまとめ、多様な方法を使いこなし、的確に表現することが出来た。	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について自分なりの意見をまとめ、効果的に表現することが出来た。	支援を得ながら、課題文の論旨や主張、論理の構成について理解し、自分なりの意見表現をした。	課題文の論旨や主張、論理の構成について十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに 向かう力 人間性	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、処理能力を使いこなし課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、効果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた諸課題に取り組み、課題解決が果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「精選論理国語」数研出版</li> <li>・キーワード漢字2700 浜島書店</li> <li>・スタディアーク現代文3 第一学習社</li> <li>・新訂総合国語便覧 第一学習社</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

教科書所収の文章を元に講義と演習を行う。段落構成の把握、各段落の要旨、表現技法、等の基本的な読解を踏まえて、各自の意見を構成したり、集団内での意見交換に取り組むこともある。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・小テスト・提出課題・授業時の観察 ノート類記述状況 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・小テスト・提出課題・授業時の観察 ノート類記述状況 など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性学習姿勢、	小テスト・課題提出状況・授業時の観察 ノート類記述状況・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	<b>【異文化と普遍】</b> 超えてゆく翻訳（ピーター・バナード） 学問の政治性（隠岐さや香） <b>【情報と知性】</b> メディアのテロル（山田登世子） <b>【環境と人間】</b> 環境と心の問題（河野哲也）、 <b>【大学入試問題等の演習】</b>	○	○	○	26
2学期	<b>【思索の深化】</b> 顔の所有（鷲田清一） <b>【考えの表出】</b> 人はなぜはたらかなくてはならないのか（小浜逸郎） <b>【環境と人間】</b> エコロジーのミューズを求めて（今福龍太） <b>【大学入試問題等の演習】</b>	○	○	○	26
3学期	<b>【大学入試問題等の演習】</b>	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

科目	古典演習	履修学年・3学年	教科担当 小寺克 橋本眞紀子
		4単位（選択）	
目標	日本の伝統的な言語文化についての知識や理解を深めるとともに、進路希望実現に必要な学力を育てる。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を使いこなし、作品を正確に読み味わい、言語文化の価値を理解することができた。	支援なしで、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を、効果的に活用し、作品を読み味わい、言語文化の特徴を理解することができた。	支援を得ながら、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を活用して作品を正確に読み、言語文化の特徴について理解し気付けた。	日本の言語文化特有の語句や表現の技法について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、継承されてきたものの見方、考え方を捉え、言語文化の知識を使いこなし自分の考えを優れた表現でまとめることができた。	支援なしで、言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を理解し自分の考えを効果的な表現でまとめることができた。	支援を得ながら、言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を理解し、自分の考えを表現した。	言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を十分に理解できず、自分の考えを表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、主体的に課題に取り組み、集団活動では他者と協力して自他の考えを引き出してそれを使いこなし考えを深めることができる。	支援なしで、課題に取り組み、集団活動では効果的に他者と協力して意見を出し合い、課題を達成して自分の役割を果たせた。	支援を得ながら課題に取り組み、集団活動において他者の立場を察して手を貸し、自分の役割を果たせた。	課題への取り組みが十分ではなく、集団活動において他者の立場を察して自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

・教科書「古典探究」数研出版、新訂総合国語便覧 第一学習社、国語力を高める教養講座・古文30選 第一学習社、漢文ウィニングクリア3 尚文出版、古文ノート・女子・敬語・識別 桐原書店、漢文必携・チェックノート 桐原書店、さくらさく古文単語 浜島書店、プリント教材

◇3 授業の方法・学び方

古典を正しく読解するために、基礎となる古典文法、作品の時代背景、生活、風習、ものの考え方などを学びながら、優れた古典作品を読み味わう。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【古文の基礎知識】 古文単語、古典文法（助動詞、助詞、識別を中心に） 古文常識、有職故実 【漢文の基礎知識】 基本句形、重要漢字、漢詩の知識 【総合的な古文・漢文の読解と鑑賞】 上記諸項目の実践的運用能力向上 【大学入試問題等の演習】	○	○	○	5 2
2学期	【古文の基礎知識】 和歌、俳諧、文学史 【漢文の基礎知識】 漢文常識、有職故実 【総合的な古文・漢文の読解と鑑賞】 上記諸項目の実践的運用能力向上 【大学入試問題等の演習】	○	○	○	5 2
3学期	【大学入試問題等の演習】	○	○	○	3 6

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

科目	国語演習	履修学年・3学年	教科担当 加藤剛大 橋本真紀子
		2単位（自由選択）	
目標	問題演習の経験を積み重ねることで、適切な文章の読解力及び記述力を身につける。さらにマーク形式の問題についても演習を通じて、限られた時間内で正解にたどり着くためのスピードを伴った読解力を養う。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、課題文を細部までの確に読解できると共に、要約、表現能力を使いこなし、他者に対して明瞭に伝わる内容にまとめることが出来た。	支援なしで、課題文の概要を理解し、論旨や主張について、効果的にまとめることが出来た。	支援を得ながら、課題文の概要を理解し、論旨や主張についても理解し気付けた。	課題文の概要理解が曖昧で、論旨や主張についても十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について高度な意見をまとめ、多様な方法を使いこなし、的確に表現することが出来た。	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について自分なりの意見をまとめ、効果的に表現することが出来た。	支援を得ながら、課題文の論旨や主張、論理の構成について理解し、自分なりの意見表現した。	課題文の論旨や主張、論理の構成について十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、処理能力を使いこなして課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組み姿勢を示した。	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、効果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた諸課題に取り組み、課題解決が果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>α・「入試につながる現代文」Learns-S</li> <li>・「新国語問題集アシスト第22集」啓隆社</li> <li>β・「新版古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート」数研出版</li> <li>・「漢文重要語マスターノート」数研出版</li> <li>・「共通テスト対策古典完答」尚文出版</li> <li>αβ 共通・プリント教材 ・学習端末</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

過去問や大学入学共通テスト、大学入試問題レベルの問題演習を行う。その中で適切な読解及び記述の仕方を身につける。
---

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	α【入試につながる現代文】1～8 【新国語問題集アシスト第22集】1～8 β【新版古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート】 【漢文重要語マスターノート】	○	○	○	26
2学期	α【入試につながる現代文】9～23 【新国語問題集アシスト第22集】9～20 β【共通テスト対策古典完答】	○	○	○	26
3学期	α 大学入試問題演習 β 大学入試問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	<b>地理探究</b>	履修学年・3学年	教科担当 山口裕貴
		2単位（自由選択）	
目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、現代世界の地理に関わる諸事象について、様々な情報を地理的な技能を使いこなして効果的に活用し理解することができた。	支援なしで、現代世界の地理に関わる諸事象について効果的に整理しまとめることができた。	支援を得ながら、現代世界の地理に関わる諸事象について理解し気付けた。	現代世界の地理に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、地理的な課題を把握し、地図情報などを使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、地理的な課題を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、地理的な課題を理解し、表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに 向かう力 人間性	支援なしで、地理的な諸事象について、深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすることができた。	支援なしで、地理的な諸事象について効果的に課題を追究、解決しようとした。	支援を得ながら、地理的な諸事象について課題を追究、解決しようとした。	地理的な諸事象について課題を追究、解決しようとすることができなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「地理探究」二宮書店</li> <li>・地図帳「詳解現代地図最新版」二宮書店</li> <li>・「新編地理資料」とうほう</li> <li>・「ウイニングコンパス地理の整理と演習」とうほう</li> <li>・各自用意するもの（色鉛筆・マーカー等）</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

世界の地理に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	小テスト・発表・授業時の観察 提出物等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	小テスト・発表・授業時の観察 提出物等記述 など	5割
態	関心・表現力・伝達・協働力	小テストへの取組・提出物等への記述・発表に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【現代世界の系統地理的考察】 自然環境（地形、気候、環境問題） 産業（農林水産業、資源、エネルギー、工業、交通、通信、貿易） 生活文化（人口、人口問題、村落、都市、都市問題、民族、宗教） 国家、領域、国家群、地形図の読図	○	○	○	26
2学期	【現代世界の地誌的考察】 地誌（東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北米、南米、オセアニア、極地方）	○	○	○	26
3学期	【現代世界におけるこれからの日本の国土像】 これからの日本の国土像	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	日本史演習 A	履修学年・3 学年	教科担当 川島義雄
		4 単位	
目標	社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、日本史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や世界史と関連付けて理解することができた。	支援なしで、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。	支援を得ながら、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。	日本史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。	歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなしてよりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。	支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。	よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「詳説日本史探究」山川出版社</li> <li>・副教材「新詳日本史」浜島書店</li> <li>・プリント教材 ・学習端末</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

日本の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）の記述・自己評価	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【近世・近代】 織豊政権、幕藩体制の成立、幕藩社会の構造、幕府の安定、幕府の発展 幕府の改革、幕府の衰退と近代への道 開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と新政府の発足 入試問題を活用した問題演習	○	○	○	3 9
2 学期	【近代】 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立、日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本、ワシントン体制、近代産業の発展 恐慌の時代、軍部の台頭、第二次世界大戦 入試問題を活用した問題演習	○	○	○	3 9
3 学期	【問題演習】 入試問題を活用した問題演習 論述問題の個別指導	○	○	○	2 7

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	<b>世界史演習 A</b>	履修学年・3 学年	教科担当 二川友樹
		4 単位	
目標	社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、世界史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や日本史と関連付けて理解することができた。	支援なしで、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。	支援を得ながら、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。	世界史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。	歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。	支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。	よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「詳説世界史」山川出版社</li> <li>・副教材「アカデミア世界史」浜島書店</li> <li>・プリント教材</li> <li>・学習端末</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

世界の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 積極性	授業時の観察・プリント等記述・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【諸地域の結合・変容】 帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	○	○	○	52
2 学期	【地球世界の課題】 冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界 大学入試問題演習	○	○	○	52
3 学期	【入試問題演習】	○	○	○	36

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	<b>世界史演習B</b>	履修学年・3学年	教科担当 二川友樹
		2単位	
目標	社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、世界史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や日本史と関連付けて理解することができた。	支援なしで、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。	支援を得ながら、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。	世界史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。	歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに 向かう力 人間性	支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。	支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。	よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「詳説世界史」山川出版社</li> <li>・副教材「アカデミア世界史」浜島書店</li> <li>・プリント教材</li> <li>・学習端末</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

世界の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 積極性	授業時の観察・プリント等記述・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【諸地域の結合・変容】 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	○	○	○	26
2学期	【諸地域の結合・変容】 アジア諸地域の動揺 大学入試問題演習	○	○	○	26
3学期	【入試問題演習】	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	日本史演習B	履修学年・3学年	教科担当 鳥羽顕司
		2単位	
目標	社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、日本史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や世界史と関連付けて理解することができた。	支援なしで、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。	支援を得ながら、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。	日本史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。	支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。	歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。	支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。	よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「詳説日本史探究」山川出版社</li> <li>・副教材「新詳日本史」浜島書店</li> <li>・プリント教材 ・学習端末</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

日本の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述・自己評価	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【中世の文化】【近世の文化】【入試問題演習】 南北朝文化、北山文化、東山文化 桃山文化、寛政期の文化、元禄文化 宝暦・天明期の文化、化政文化	○	○	○	26
2学期	【現代史（戦後史）】【近現代の文化】 占領の改革、冷戦の開始と講和、55年体制、経済復興から高度成長へ 経済大国への道、冷戦の終結と日本社会の動揺、55年体制の終焉と現代の政治 明治期の文化、大正期の文化、戦時下の文化、占領期の文化	○	○	○	26
3学期	【入試問題演習】	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 公民科

科目	政治・経済	履修学年・3学年	教科担当 小倉史也
		2単位（必履修）	
目標	社会的事象の公民的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に調べまとめる技能を駆使し、社会問題の構造と現状を深く理解できた。	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に整理し、まとめることができた。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に関わる諸事象に触れ、知ることができた。	現代政治や経済社会に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、現代政治や経済社会に見られる課題を把握し、学問的な概念を適用しつつ考察したことを説明したり、解決案を提示したりすることができた。	支援なしで、現代政治や経済社会に見られる課題を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に見られる課題を理解し、表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象をよく理解するための課題に根気強く取り組んだり、よりよい社会の実現をめざし主体的に追究することができた。	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に課題を追究、解決しようとした。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に関わる諸事象について課題を追究、解決しようとした。	現代政治や経済社会に関わる諸事象について課題を追究、解決しようとすることができなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書『高等学校 政治・経済』清水書院</li> <li>資料集『最新図説 政経』浜島書店</li> <li>プリント教材</li> <li>学習端末</li> </ul>
---

◇ 3 授業の方法・学び方

現代社会の政治の仕組みや経済社会との関わり、諸問題についての講義やワークを行う。基礎的な公民的知識・思考方法をベースに、主体的・協働的に課題に取り組む中で多様な意見に触れ、より確かな社会洞察と解決策の思案を試みてほしい。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力	授業時の観察・ノート等記述・課題に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	<b>【現代政治のしくみと日本】</b> 8 日本の政治機構 9 政党政治と選挙制度 10 地方自治 <b>【現代経済のしくみと日本】</b> 1 経済活動と経済主体 2 市場経済の機能と限界 3 国民経済と景気変動 4 物価とその変動	○	○	○	26
2学期	<b>【現代経済のしくみと日本】</b> 5 金融のしくみとはたらき 6 財政のしくみとはたらき 7 日本経済のあゆみ 8 企業の活動と役割 9 日本国内の経済的諸問題 <b>【現代の国際政治・経済】</b> 1 国際社会の基本 2 国際連合と平和構築の歴史 3 国際経済の基本と国際為替のしくみ 4 国際経済体制について	○	○	○	26
3学期	受験問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 公民科

科目	<b>政治・経済演習</b>	履修学年・3学年	教科担当 小倉 史也
		2単位（必選・自選）	
目標	社会的事象の公民的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指すと同時に、より専門的な高等教育を受けるための大学進学を目指した進学指導を行う。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に調べまとめる技能を駆使し、社会問題の構造と現状を深く理解できた。	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に整理し、まとめることができた。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に関わる諸事象に触れ、知ることができた。	現代政治や経済社会に関わる諸事象について十分に理解し、気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、現代政治や経済社会に見られる課題を把握し、学問的な概念を適用しつつ考察したことを説明したり、解決案を提示したりすることができた。	支援なしで、現代政治や経済社会に見られる課題を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に見られる課題を理解し、表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに 向かう力 人間性	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象をよく理解するための課題に根気強く取り組んだり、よりよい社会の実現をめざし主体的に追究することができた。	支援なしで、現代政治や経済社会に関わる諸事象について効果的に課題を追究、解決しようとした。	支援を得ながら、現代政治や経済社会に関わる諸事象について課題を追究、解決しようとした。	現代政治や経済社会に関わる諸事象について課題を追究、解決しようとすることができなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書『高等学校 政治・経済』清水書院</li> <li>資料集『最新図説 政経』浜島書店</li> <li>プリント教材</li> <li>学習端末</li> </ul>
---

◇ 3 授業の方法・学び方

現代社会の政治の仕組みや経済社会との関わり、諸問題についての演習問題とその解説を行う。基礎的な公民的知識・思考方法をベースに、主体的・多角的に課題に取り組む中でより専門的な概念に触れ、より確かな知識構築と解決策の思案を試みてほしい。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力	授業時の観察・ノート等記述・課題に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	<b>【現代政治のしくみと日本】</b> 8 日本の政治機構 9 政党政治と選挙制度 10 地方自治 <b>【現代経済のしくみと日本】</b> 1 経済活動と経済主体 2 市場経済の機能と限界 3 国民経済と景気変動 4 物価とその変動	○	○	○	26
2学期	<b>【現代経済のしくみと日本】</b> 5 金融のしくみとはたらき 6 財政のしくみとはたらき 7 日本経済のあゆみ 8 企業の活動と役割 9 日本国内の経済的諸問題 <b>【現代の国際政治・経済】</b> 1 国際社会の基本 2 国際連合と平和構築の歴史 3 国際経済の基本と国際為替のしくみ 4 国際経済体制について	○	○	○	26
3学期	受験問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

科目	数学ⅠA演習	履修学年・3学年	教科担当 高島美雪
		2単位（必履修）	
目標	講義と演習を通して様々な問題に触れながら、論理立てて考えられる力を身につけさせる。 また、共通テストや個別試験に対応できる応用力を養う。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。	支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくするために活用することができた。	支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。	公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用して、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。	数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなし自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる	支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた	支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた	日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「リンク数学演習Ⅰ・A」数研出版</li> <li>・副教材「4STEP 数学Ⅰ+A」数研出版</li> <li>「チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A」数研出版</li> <li>・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの（ノート等）</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。適宜スタディサプリなども活用することを勧める。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力	課題テスト・小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【数と式】【集合と命題】【2次関数】【図形と計量】【データの分析】【場合の数と確率】【図形の性質】【数学と人間の活動】 の8分野に関する問題演習	○	○	○	26
2学期	【数と式】【集合と命題】【2次関数】【図形と計量】【データの分析】【場合の数と確率】【図形の性質】【数学と人間の活動】 の8分野に関する入試問題演習	○	○	○	26
3学期	【全単元】 入試問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

科目	数学ⅠAⅡBC演習	履修学年・3学年	教科担当 柏田浩佑 須田雄介 幸田英希
		2単位（必履修）	
目標	講義と演習を通して様々な問題に触れながら、論理立てて考えられる力を身に付けさせる。また、共通テストや個別試験に対応できるだけの応用力を養う。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。	支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくねするために活用することができた。	支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。	公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用して、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。	数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなし自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる	支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた	支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。	日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「リンク数学演習Ⅰ・AⅡ・B・C」数研出版</li> <li>・副教材「4STEP 数学Ⅰ+A・Ⅱ+B・C」数研出版</li> <li>「チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A・Ⅱ+B・C」数研出版</li> <li>・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの(ノート等)</li> </ul>
---

◇3 授業の方法・学び方

<p>一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。適宜スタディサプリなども活用することを勧める。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力	課題テスト・小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【ベクトル】【場合の数と確率】【数列】【三角関数】 上記4分野に関する入試問題演習	○	○	○	26
2学期	【指数関数・対数関数】【微分法と積分法】【図形と計量】【図形と方程式】 【データの分析】【統計的な推測】 上記6分野に関する入試問題演習	○	○	○	26
3学期	【全単元】 入試問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 情報科

科目	<b>数学Ⅲ</b>	履修学年・3学年	教科担当 幸田英希 須田雄介
		4単位（必修選択）	
目標	数学Ⅲでは、関数・極限・微積分法に関する基本的な概念や原理・法則の理解を、数学Ⅱで学習したときよりも緻密に行うことが求められる。授業では発展的な知識の習得と、正確で高度な計算技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。	支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題を解決するために活用することができた。	支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し、気付けた。	公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解できず、気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用して、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。	数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず、表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなし、自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができた。	支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。	支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。	日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「数学Ⅲ」数研出版株式会社</li> <li>・副教材「4STEP数学Ⅲ」、「基礎からの数学Ⅲ」数研出版株式会社</li> <li>・プリント教材やノート ・学習端末(特にスタディサプリ)</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、スタディサプリで配信する課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。</p>
--

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察など	4割
態	協働力	課題（スタディサプリ）への取り組み状況・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【第1章 関数】 分数関数、無理関数、逆関数と合成関数 【第2章 極限】 数列の極限、関数の極限、関数の連続性 【第3章 微分法】 微分係数の定義、導関数の計算、いろいろな関数の導関数 【第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用】 接線の公式、平均値の定理、グラフ 【第5章 積分法 第1節 不定積分】 不定積分における置換積分法と部分積分法	○	○	○	5 2
2学期	【第5章 積分法 第2節 定積分】 定積分における置換積分法と部分積分法 【第6章 積分法の応用】 面積、体積、曲線の長さ 【第4章 微分法の応用 第2節 速度と近似式】 速度と加速度、近似式、道のり	○	○	○	5 2
3学期	【演習】	○	○	○	3 6

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

科目	<b>数学C</b>	履修学年・3学年	教科担当 幸田英希 須田雄介
		2単位（自由選択）	
目標	数学Cにおける基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。	支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題を解決するために活用することができた。	支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し、気付けた。	公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解できず、気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用して、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。	数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず、表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなし、自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができた。	支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。	支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。	日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「数学C」数研出版</li> <li>・副教材「4 STEP 数学C」数研出版</li> <li>「チャート式 基礎からの数学C」数研出版</li> <li>・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの（ノート等）</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。適宜スタディサプリなども活用することを勧める。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察など	4割
態	協働力	課題（スタディサプリ）への取り組み状況・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【複素数平面】 複素数平面、複素数の極形式、複素数の極形式と乗法・除法、ド・モアブルの定理、複素数平面上の内分点・外分点、複素数平面上の直線や円を表す方程式や軌跡、図形の特徴を複素数で表す	○	○	○	26
2学期	【いろいろな曲線】 放物線・楕円・双曲線の方程式と焦点・準線、放物線・楕円・双曲線の図形的特徴、2次曲線の平行移動、2次曲線と直線、離心率 媒介変数表示、極座標と極方程式、極方程式で表される有名な曲線	○	○	○	26
3学期	【演習】 入試問題演習など	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 理科

科目	<b>化学</b>	履修学年・3学年	教科担当 佐田山彩紀 吉兼健太
		6単位（必修選択）	
目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせて見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし、実験結果と考察を区別してまとめることができた。	支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえて、効果的に整理してまとめることができた。	支援を得ながら、物質とその変化について理解し気付けた。	物質とその変化について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし多面的な考察から自らの言葉で化学現象を言語化できた。	支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえて効果的に化学現象を言語化できた。	支援を得ながら、化学現象を理解し言語化できた。	化学現象を十分に理解できず言語化できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動の中で他者と協働した取り組みを果たし、それを使いこなして他の問題にも対応することができる。	支援なしで、集団活動の中で自らの役割を十分に果たし、効果的に問題解決に寄与した。	支援を得ながら、集団活動の中で問題解決に寄与した。	集団活動の中で自らの役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「化学」第一学習社</li> <li>・プリント教材 ・学習端末</li> <li>・各自用意するもの（ノート、筆記具）</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>物質とその変化に関わる講義および実験を行う。実験の際は白衣・学習端末を持参すること。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実験レポート・授業時の観察 ノート等記述・授業に臨む姿勢 など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	<b>【物質の変化と平衡】</b> ・電池・電気分解 ・化学反応と熱・光 <b>【無機物質】</b> ・周期表と元素の性質 ・非金属元素 ・典型金属元素 ・遷移元素 <b>【有機化合物】</b> ・有機化合物の特徴 ・脂肪酸炭化水素 ・酸素を含む脂肪族化合物 ・芳香族化合物 <b>【物質の状態】</b> ・物質の状態変化 ・気体の性質	○	○	○	7 8
2学期	<b>【物質の状態】</b> ・固体の構造 ・溶液の性質 <b>【物質の変化と平衡】</b> ・化学反応の速さ ・化学平衡 ・電離平衡 <b>【高分子化合物】</b> ・高分子化合物 ・天然高分子化合物 ・合成高分子化合物 <b>【共通テスト・大学入試問題演習】</b>	○	○	○	7 8
3学期	<b>【共通テスト・大学入試問題演習】</b>	○	○	○	5 4

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 理科

科目	物理演習①②	履修学年・3学年	教科担当 木村嘉尚 武田毅
		4単位（選択必修・自選）	
目標	観察、実験などを通して、自然界に起こる物理分野の現象に含まれる原理・法則を見出し、理解を深める。さらにそれらの法則を用いて新しい現象を予測したり、説明することができるようになる。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性を発見するプロセスを使いこなし、新たな別の問題でもまとめることができた	支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性について、効果的に整理しまとめることができた。	支援を得ながら、数学的知識を活用し自然現象についての法則性を理解し気付いた。	自然現象についての法則性を十分に理解し気付かなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、自然現象の法則性や知識を使いこなし、考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、自然現象の法則性や知識を理解し効果的に説明することができた。	支援を得ながら、自然現象の法則性や知識を理解し表現した。	自然現象の法則性や知識を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、探究的・主体的な学びをすることが十分にできた	支援なしで、探究的・主体的な学びをすることができた。	支援を得ながら、探究的・主体的な学びをすることができた。	探究的・主体的な学びを十分にすることができなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「物理」数研出版</li> <li>・問題集「2023 セミナー物理基礎+物理」第一学習社</li> <li>・フォローアップドリル 原子 数研出版</li> <li>・プリント教材</li> </ul>
---

◇3 授業の方法・学び方

<p>身近な自然現象の仕組みや法則性について、講義や実験を行う。法則性が数学的知識をもとに説明できる、ということを理解するためには、各自で演習を十分に行う必要がある。実験では主体的に創意工夫を行い、DATA から得られることを適切に表現する方法を身につけていく。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	基礎知識と能力	定期考査・実験・課題制作物・小テスト・提出物等記述など	5割
思	論理的思考力・実践力・創造力	定期考査・実験・課題制作物・小テスト・提出物等記述など	5割
態	探究力・コミュニケーション能力 ・積極性・表現力・発信力	実験・課題制作物・授業時の観察 提出物等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【回路】(コンデンサーを含むいろいろな)回路 【力学】円運動・慣性力・単振動・万有引力 【波動】光 【熱】 気体分子運動論・気体の状態変化	○	○	○	5 2
2学期	【磁気】電流と磁場 電磁誘導 交流回路 【原子】波動性と粒子性 原子核 【演習】物理総合演習	○	○	○	5 2
3学期	【演習】共通テスト演習	○	○	○	3 6

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 理科

科目	<b>化学基礎演習</b>	履修学年・3 学年	教科担当 吉兼健太
		1 単位（自由選択）	
目標	化学基礎の復習・演習を通して、共通テストにそなえ実力を養成する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、物体とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし、問題の解法を自らの言葉で解説することができた。	支援なしで、物体とその変化を微視的な視点からとらえて、効果的に整理してまとめることができた。	支援を得ながら、物体とその変化について理解し気付けた。	物体とその変化について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、物体とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし多面的な考察から自らの言葉で化学現象を言語化できた。	支援なしで、物体とその変化を微視的な視点からとらえて効果的に化学現象を言語化できた。	支援を得ながら、化学現象を理解し言語化できた。	化学現象を十分に理解できず言語化できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動の中で他者と協働した取り組みを果たし、それを使いこなし他の問題にも対応することができる。	支援なしで、集団活動の中で自らの役割を十分に果たし、効果的に問題解決に寄与した。	支援を得ながら、集団活動の中で問題解決に寄与した。	集団活動の中で自らの役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「化学基礎」第一学習者</li> <li>・つかむ化学基礎 浜島書店</li> <li>・プリント教材 ・学習端末</li> <li>・各自用意するもの（ノート、筆記具）</li> </ul>
---

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>化学基礎の共通テスト対策用講座であり、演習を中心に、解法の解説及び、要点の確認を行い、難易度の高い問題にも取り組めるだけの素養を身に着ける。</p>
---

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	5 割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	5 割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【第1章 物質の構成】 物質の分離～化学結合 【第2章 物質の変化】 物質質量～中和滴定	○	○	○	1 3
2 学期	【第2章 物質の変化】 酸化還元 【総合演習】 実験操作、単元横断問題、共通テスト演習問題	○	○	○	1 3
3 学期	【総合演習】 単元横断問題、共通テスト演習問題、実践演習	○	○	○	9

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 理科

科目	<b>生物基礎演習</b>	履修学年・3 学年	教科担当 城戸文
		2 単位（自由選択）	
目標	・日常生活と関連付けることで生物や生物現象への関心を高め、観察・実験などを通して生物学的に探究する力を育てるとともに、生物学の考え方を養う。 ・進路の実現に向けて、発展的な生命現象を確実に身に着ける。"		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、知識を使いこなし、別の問題にも適用して考えることができた。	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、効果的に整理しまとめることができた。	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し気付いた。	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ知識を使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ効果的に説明することができた。	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し表現した。	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなし別的事象にも対応することができる	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「生物基礎」東京書籍</li> <li>補助教材「スクエア最新図説生物」(第一学習社)</li> <li>問題集「ベストフィット」(実教出版)</li> </ul>
--

◇ 3 授業の方法・学び方

グループワークや実験を行い、協同的な学びを通して主体的に創意工夫や探究を行う力や表現力を育て、それらを通じて単元の主題をイメージ化し、問題意識を形成する。次に講義や演習を通じて、知識や考え方を整理し生命現象に対応する科学的な概念の形成・定着を図る。共通テストや医療系生物基礎分野の発展的な演習問題にも取り組む。
---

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査 など	5 割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実験レポート など	5 割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実験レポート・確認テスト・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	<b>【生物の特徴】</b> 講義、演習 <b>【ヒトの体の調節】</b> 講義、演習 <b>【生物の多様性と共通性】</b> 講義、演習	○	○	○	26
2 学期	<b>【演習】</b> 入試問題演習	○	○	○	26
3 学期	<b>【演習】</b> 入試問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 理科

科目	<b>生物演習①②</b>	履修学年・3学年	教科担当 城戸文
		4単位（選択必修・自選）	
目標	・日常生活と関連付けることで生物や生物現象への関心を高め、観察・実験などを通して生物学的に探究する力を育てるとともに、生物学の考え方を養う。 ・進路の実現に向けて、発展的な生命現象を確実に身に着ける。"		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、知識を使いこなし、別の問題にも適用して考えることができた。	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、効果的に整理しまとめることができた。	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し気付けた。	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ知識を使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ効果的に説明することができた。	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し表現した。	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなし別的事象にも対応することができる。	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「生物」東京書籍</li> <li>・補助教材「スクエア最新図説生物」(第一学習社)</li> <li>・問題集「ニューグローバル生物基礎・生物」(東京書籍)</li> </ul>
---

◇ 3 授業の方法・学び方

グループワークや実験を行い、協同的な学びを通して主体的に創意工夫や探究を行う力や表現力を育て、それらを通じて単元の主題をイメージ化し、問題意識を形成する。次に講義や演習を通じて、知識や考え方を整理し生命現象に対応する科学的な概念の形成・定着を図る。難関大学の発展的な演習問題にも取り組む。
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実験レポート など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実験レポート・確認テスト・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	<b>【遺伝子の働き】</b> 遺伝情報の発現 動物の発生 バイオテクノロジー	○	○	○	52
2学期	<b>【生物の環境応答】</b> 動物の刺激の受容と反応・行動 植物の生殖・発生・環境応答 <b>【生態と環境】</b> 生態系と人間活動	○	○	○	52
3学期	<b>【演習】</b> 入試問題演習	○	○	○	36

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

科目	<b>体育</b>	履修学年・3学年	教科担当
		3単位（必履修）	石塚千奈 江城隆史 藤井弘行 真部順子
目標	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康安全について理解し、技能を身に付ける。 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断するとともに、他者に伝える。 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育む。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を使いこなし、運動の多様性や体力の必要性について、技能を身に付け理解することができた。	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を行い、効果的に技能を身に付け理解することができた。	支援を得ながら、運動の特性や技能、健康安全について理解し気付けた。	運動の特性や技能、健康安全について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を使いこなし、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、効果的で合理的、計画的な解決方法し、自己の考えたことを他者に伝えることができた。	支援を得ながら、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を理解し表現した。	運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して公正に取り組み、それを使いこなし自分の役割や責任を果たすことができた。	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して効果的に関り、自分の役割を見つけ責任を果たすことができた。	支援を得ながら、運動における競争や協働の場面において自分の役割を果たせた。	運動における競争や協働の場面において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「現代高等保健体育」大修館書店</li> <li>プリント教材</li> <li>学習端末</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

種目選択を行い立案形式で自ら学習内容および目標を設定することで、主体的に運動に親しむとともに、他者と協力して課題の発見や問題解決を目指す。
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	/
思	創造力・表現力、 発信力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	
態	協働力、コミュニケーション能力、 リーダーシップ・協調性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【陸上競技（短距離走・リレー）】クラウチングスタート、バトンパス 【球技（ネット型、ゴール型）】男女共習 タグラグビー・バレーボール 【球技 武道 ダンス 陸上競技】クラス男女別による種目選択	○	○	○	39
2学期	【球技（ネット型、ゴール型）】男女共習 タグラグビー・バレーボール 【球技 武道 ダンス 陸上競技】男女共習 希望種目選択 【体育理論】豊かなスポーツライフの設計	○	○	○	39
3学期	【球技 武道 ダンス 陸上競技】男女共習 希望種目選択 【体づくり運動】筋持久力、調整力	○	○	○	27

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

科目	<b>必修選択体育</b>	履修学年・3学年	教科担当 江城隆史 真部順子
		2単位（必修選択）	
目標	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康安全について理解し、技能を身に付ける。 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断するとともに、他者に伝える。 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育む。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を使いこなし、運動の多様性や体力の必要性について、技能を身に付け理解することができた。	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を行い、効果的に技能を身に付け理解することができた。	支援を得ながら、運動の特性や技能、健康安全について理解し気付けた。	運動の特性や技能、健康安全について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力判断力表現力	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を使いこなし、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、効果的で合理的、計画的な解決方法し、自己の考えたことを他者に伝えることができた。	支援を得ながら、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を理解し表現した。	運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力人間性	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して公正に取り組み、それを使いこなし自分の役割や責任を果たすことができた。	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して効果的に関り、自分の役割を見つけ責任を果たすことができた。	支援を得ながら、運動における競争や協働の場面において自分の役割を果たせた。	運動における競争や協働の場面において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「現代高等保健体育」大修館書店</li> <li>プリント教材</li> <li>学習端末</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

運動の特性や練習方法、指導法の講義・実技を通して、技能と指導法を習得する。また、より高度な内容に挑戦し深い学びへとつなげる。
--

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	/
思	創造力・表現力、 発信力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	
態	協働力、コミュニケーション能力、 リーダーシップ・協調性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【球技 水泳 武道 ダンス 陸上競技 体づくり運動】 選択した種目を実施	○	○	○	26
2学期	【球技 水泳 武道 ダンス 陸上競技 体づくり運動】 選択した種目を実施	○	○	○	26
3学期	【球技 水泳 武道 ダンス 陸上競技 体づくり運動】 選択した種目を実施	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 芸術科

科目	音楽総合	履修学年・3学年	教科担当 中澤朋子
		2単位（必修選択）	
目標	音楽の諸活動を通して、音楽に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。また音楽・芸術に関する素養を身に付け、豊かな感性と音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、創造的で個性豊かな表現力・鑑賞力を高める。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、音楽に関する知識や、音楽表現に必要な技能を使いこなし、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる事ができた。	支援なしで、音楽に関する知識・技能の理解を深め効果的に応用し、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる事ができた。	支援を得ながら、音楽に関する知識、多様な音楽表現について理解し気付けた。	音楽に関する知識、多様な音楽表現について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、多様な音楽の表現方法を使いこなし、柔軟で説得力のある自己表現を行い、周囲に良い影響を与える事ができた。	支援なしで、説得力のある音楽表現を理解し、効果的で工夫した自己表現ができた。	支援を得ながら、説得力のある音楽表現を理解し、表現した。	説得力のある音楽表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなして別の事象や個人活動にも対応することができる。	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「Joy of Music」 教育芸術社</li> <li>・プリント教材</li> <li>・各自用意するもの（ファイル）</li> </ul>
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>合唱・独唱・器楽演奏・鑑賞・創作などについて、実践を中心に授業を行う。楽典については、問題演習を交えながら知識の定着を図る。他者と協力して取り組み、様々な音楽表現を学んでいきましょう。</p>
---

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
思	創造力・表現力 発信力	実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
態	協働力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【歌唱】 合唱 【器楽】 合奏 【鑑賞】 オペラ	○	○	○	26
2学期	【歌唱】 芸術歌曲、合唱（演奏会） 【器楽】 合奏（演奏会） 【楽典】 音階	○	○	○	26
3学期	学習の振り返り	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

科目	英語コミュニケーションⅢ	履修学年・3学年	教科担当 高橋佳代子 飯野初代 割栢健太
		4単位（必履修）	
目標	様々な英語を読み聞きしで内容を理解し、自分の考えを書いたり話したりできる能力を養う。 英語を使い積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、英文を正しく理解することができる。単語や文法を理解し使いこなし、英文要約や自分の考えを論理的にまとめることができる。	支援なしで、英文を理解することができる。単語や文法を効果的に用いて英文の要約ができる。	支援を得ながら、必要な文法や単語の意味を理解し、英文を理解することができる。	英文を読むのに必要な文法や単語の意味を十分に理解せず英文を正しく理解できない。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし表現することができる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを効果的に英語を用いて表現することができる。	支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを表現できる。	設問や課題に対する自分の課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

教科書「ENRICH LEARNING II」東京書籍  
Cutting Edge BLUE エミール出版  
LEAP 数研出版  
バックV 駿台文庫

◇3 授業の方法・学び方

教科書、副教材の本文を元に講義と問題演習を行う。JETとのTTでは生徒が英語で考え話す機会を作る。その他、洋書を適宜使用し英文を自分で読む力を養う。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【ENRICH LEARNING】 Unit 1 ~Unit 3 【Cutting Edge BLUE】 Chapter 5~13	○	○	○	5 2
2学期	【ENRICH LEARNING】 Unit 4 ~Unit 7 【Cutting Edge Green】 Chapter 14~18 共通テスト対策問題演習	○	○	○	5 2
3学期	共通テスト対策問題演習	○	○	○	3 6

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

科目	論理・表現Ⅲ	履修学年・3学年	教科担当 高橋佳代子 飯野初代 宮澤沙友里 藤岡達也 三好久美子
		2単位（必履修）	
目標	必要な英語のきまりや特徴を理解し、日常的な話題について、自らが得た情報や自らの意見を、正しい英語表現で論理的に伝える能力と態度を養う。また、JET とのティームティーチングにより英作文、エッセイライティングなどの演習を行い、総合的な英語力を育てる。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。	支援なしで、英文を作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を効果的に用いて情報や自分の考えを表現できる。	支援を得ながら、必要な英語のきまりや特徴を理解し、英文を作ることができる。	英文を作るのに必要な英語のきまりや特徴を十分に理解せず正しい英文を作れない。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしなが論理的に表現することができる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、内容を整理した上で効果的に英語で表現できる。	支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを英語で表現できる。	設問や課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「GeniuⅢ」大修館書店</li> <li>・副教材「Power Stage 英文法・語法問題」桐原書店</li> <li>「グラマーコレクション」いいずな書店</li> <li>「Write to the Point」数研出版</li> </ul>
---

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>表現活動に必要な英語のきまりや特徴に焦点を当てながら、講義と問題演習を行う。</p>
---

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【GeniusⅡ】 Part 1～2 【Power Stage 英文法・語法問題】 第1章～第9章 【グラマーコレクション】 Lesson 1～Lesson 9 【Write to the Point】 L1～L4	○	○	○	26
2学期	【GeniusⅡ】 Part 3～4 【Power Stage 英文法・語法問題】 第10章～第18章 【グラマーコレクション】 Lesson 10～Lesson 18 【Write to the Point】 L5～L8	○	○	○	26
3学期	共通テスト対策問題演習	○	○	○	18

調布北高校 令和6年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

科目	英語演習 B	履修学年・3 学年	教科担当 高橋佳代子 割栢健太
		2 単位（必修選択）	
目標	様々な英語を読み聞きして内容を理解し、自分の考えを書いたり話したりできる能力を養う。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、英文を正しく理解することができる。単語や文法を理解し <b>使いこなし、英文を要約</b> したり自分の考えを論理的にまとめることができる。	支援なしで、英文を理解することができる。単語や文法を <b>効果的に用いて英文の要約</b> ができる。	支援を得ながら、必要な文法や単語の意味を理解し、 <b>英文を理解</b> することができる。	英文を読むのに必要な文法や単語の意味を <b>十分に理解せず英文を正しく理解できない</b> 。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を <b>使いこなし表現</b> することができる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを <b>効果的に英語を用いて表現</b> することができる。	支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを <b>表現</b> できる。	設問や課題に対する自分の課題に対する自分の考えを英語で <b>十分に表現できなかつた</b> 。
(態) 学びに 向かう力 人間性	支援なしで、与えられた課題に取り組み、 <b>積極的に課題解決を達成</b> し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、 <b>果的に課題解決を果たせた</b> 。	支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を <b>果たせた</b> 。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを <b>十分に果たそうとしなかつた</b> 。

◇ 2 教科書・使用教材等

Cutting Edge Orange (エミル出版) ENRICH LEARNING III 自校作成プリント
--

◇ 3 授業の方法・学び方

教科書、副教材の本文を元に講義と問題演習を行う。 英作文では JET の補助をうけ、生きた英語の表現を学ぶ。
---

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述 など	6 割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述 など	4 割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	定期考査・小テスト・課題・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【Cutting Edge Orange】 Chapter 1 ~Chapter 4 【ENRICH LEARNING III・自校作成プリント】 適宜	○	○	○	26
2 学期	【Cutting Edge Orange】 Chapter 5 ~Chapter 9 【ENRICH LEARNING III・自校作成プリント】 適宜	○	○	○	26
3 学期	【入試問題演習】	○	○	○	18